

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成28年(2016)4月20日

No. 100
発行 高津啓洋

命を守る緑の再生へ100号発信

この度、ニュースレター『フォレスト』が通巻100号を迎えることになりました。これはひとえに会員の皆様の10年を越える継続的かつ熱意あるご支援の賜物と思いきや、あらためて深い感謝の意をお伝えするしだいです。

当会発足時の任意団体の時期と、東京都からNPOの認可を受けて

からの時期を合わせるとすでに16年を越える歩みを続けてきました。その間、主に日本国内とパラグアイにおきまして、36か所41,000本（他団体との協力関連も含む）の植樹活動を軸とする多岐にわたる環境保全活動を実施することができました。これもまた、会員の皆様のご協力なくしてはとうてい不

可能なことであつたと思わざるを得ません。

また、今回この記念すべき100号を発行するに際し、期を一にする

かのように起こった熊本・大分大地震！そしてその惨禍！当会の事業立ち上げの第一の目的が、いざというときの災害から人命を守る手段としての森づくりにあつたことから、益々この事業の使命の重要性を痛感いたしました。

当会は今後の10年、国内においては全国各地域の防災と環境保全に貢献するための植樹活動、また海外においては、レダプロジェクトを始め、パンタナール地域やアマゾン流域の保全をも視野に入れたグローバルな貢献を目指す所存です。

今後とも会員ならびに関係者の皆様のさらなるご支援とご理解を



賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2016年4月20日

NPO地球の緑を守る会理事長
高津啓洋

毎年、青年をパラグアイパンタナール地域の植樹ボランティアで派遣しています。（写真左下・2015年の派遣隊です。）

（写真右下・2011年東日本大震災後の、震災復興のための植樹祭を、各地で支援しています。）

（上写真・今年の4月2日・国立オリンピック青少年総合センターで「ここまで来た地球環境問題」の講座を担当・高津理事長）



【お知らせ】東京でのセミナーは、2016年8月6日（土）「ここまで来た地球環境」高津理事長のフィールドワークを含めた実践的環境保護セミナーの開催です。